

I 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

当協会は、昭和23年8月に財団法人埼玉県消防協会として設立され、「消防思想を普及徹底し、消防諸施設の改善と消防活動の強化を図り、もって社会の災害を防止し、人類共通の福祉の増進に寄与すること。」を目的に活動している。

公益法人制度改革関連法の規定に基づき、平成24年4月1日付けをもって、公益財団法人埼玉県消防協会へ移行した。この移行と共に公益性をより高め、県民の更なる安心・安全の確保を図り、福祉の増進に寄与することが求められている。

当協会の事業の内容は、地域の消防・防災活動の中核的な担い手である消防団員及び消防職員への支援を通じ、地域の災害の防止に貢献するための事業を行っている。

しかし、令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため事業の中止や縮小を余儀なくされ、その概要は次のとおりである。

1 主な事業の概要

(1) 第72回定例表彰式

ア 表彰式概要

令和2年10月22日(木)さいたま市民会館うらわを会場として、式典を行う予定であったが、新型コロナ禍の影響により式典は行わず、消防団、消防団員及び企業など延べ49団体、2,556人を表彰した。

イ 死亡特例表彰

在職中に死亡した消防団員11人に死亡特例表彰を授与した。

(2) 慰霊祭事業

ア 慰霊祭

令和2年11月17日(火)従来の慰霊祭は、埼玉県消防学校屋内訓練場を会場として行っていたが、新型コロナ禍の影響により規模を縮小し、慰霊碑前にて、消防殉職・殉難者84柱の御霊に対する慰霊祭を挙行、協会正副会長等が参列した。

イ 死亡弔慰金の交付

在職中に死亡した消防団員11人、消防職員5人の計16人の遺族に対して弔慰金を交付した。

(3) 第31回埼玉県消防操法大会

令和2年8月22日(土)埼玉県消防学校で開催予定であったが、新型コロナウイルス禍の影響による全国消防操法大会の中止を受けて、埼玉県消防操法大会についても開催中止となる。

(4) 消防団員研修事業

ア 住宅用火災警報器設置推進指導員研修

埼玉県防災学習センターにおいて、消防団員を対象に住宅用火災警報器の設置率向上を目的とし、羽生市消防本部に講師を依頼して「住宅用火災警報器の設置率、維持管理、奏功事例等」について研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス禍の影響により開催中止となる。

開催予定日	回数	時間	受講者数(女性数)
令和2年	第1回	10時00分 ～11時30分	開催中止
9月26日(土)	第2回	13時00分 ～14時30分	〃
合	計		〃

イ 女性消防団員研修

埼玉県消防学校において、女性消防団員を対象に災害避難所の運営を目的とした「HUG訓練(避難所運営ゲーム)」を川越市消防団員で防災士として活躍中の田中緑氏に講師を依頼して、研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス禍の影響により開催中止となる。

開催予定日	受講者数
令和2年11月28日(土)	開催中止

ウ 消防団長等幹部研修会

埼玉県危機管理防災センターにおいて、消防団長等を対象に、研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス禍の影響により開催中止となる。

開催予定日	受講者数
令和3年2月10日(水)	開催中止

エ 消防団員基礎教育研修

埼玉県消防学校が行う教育訓練を支援して、現地研修修了者（概ね入団3年以内）の新入消防団員を対象とした基礎教育研修は、昨年度分1回を実施し、51人（女性7人）が受講した。

しかし、今年度分は、新型コロナ禍の影響により開催中止となる。

回数	実施日	受講者数（女性数）
令和元年度分	令和2年11月28日（土）	51人（7人）
第1回	令和3年1月9日（土）	開催中止
第2回	令和3年1月16日（土）	〃
第3回	令和3年2月13日（土）	〃
第4回	令和3年2月20日（土）	〃
合計		51人（7人）

オ 消防団員幹部研修（初級幹部科・指揮幹部科）

埼玉県消防学校が行う教育訓練を支援して、消防団幹部を対象とした初級幹部科・指揮幹部科（現場指揮課程・分団指揮課程）の研修は、昨年度分を実施、合計72人（女性0人）が受講した。

種別	実施日	受講者数（女性数）
初級幹部科	令和3年2月27日（土） 令和3年2月28日（日）	開催中止
指揮幹部科	分団指揮課程 令和元年度分 令和2年11月21日（土）	72人（0人）
	〃	令和3年3月6日（土） 開催中止
	現場指揮課程 令和3年3月12日（金） 令和3年3月13日（土）	〃
合計		72人（0人）

カ 日本消防協会研修

日本消防協会主催による各都道府県から推薦された消防団幹部及び幹部候補生を対象とした特別研修に各ブロックから団員を派遣予定であったが、新型コロナ禍の影響により研修会は開催中止となり、消防団幹部等研修が映像配信で実施され、3名の団員が参加した。

種 別	実 施 日	受 講 者 数
消防団幹部特別研修	令和3年 1月12日～1月15日	1ブロック 開催中止
消防団幹部候補 中央特別研修	令和3年 2月3日～2月5日	2.3.4ブロック 開催中止
	令和3年 2月17日～2月19日	2.3ブロック 開催中止

(5) 普及啓発・活性化事業

ア 全国女性消防団員活性化事業

令和2年11月19日（木）徳島市において開催予定であった「第26回全国女性消防団員活性化徳島大会」は、新型コロナ禍の影響により開催中止となる。

イ 防火ポスター、防火防災作文の募集及び防火ポスターの配布

全日本消防人共済会の依頼を受け、県内小中学校あてに防火ポスター及び防火防災作文の募集を行い、防火ポスターでは応募のあった13点から2点を推薦した。防災作文では、応募のあった三郷市立栄中学校からの作文2点を推薦した。

その結果、防火防災に関する作文で三郷市立栄中学校1年生 前田瑞稀君の作品が優秀賞に選ばれた。

なお、全日本消防人共済会から提供のあった防火ポスター1,064枚を県内消防団に配布した。

ウ 埼玉県防災講演会

東松山市及び加須市において、県民を対象に防災意識の向上を図ることを目的とし、災害リスク評価研究所代表の松島康生氏による防災講演会を開催予定であったが、新型コロナ禍の影響により開催中止となる。

回数	開催場所	開催予定日	受講者数
第1回	松山市民活動センター	令和2年 7月11日(土)	開催中止
第2回	パストラルかぞ	令和2年 10月10日(土)	〃

(6) 福利厚生事業

ア 消防団員等福祉共済

公益財団法人日本消防協会による、消防職団員を対象とした消防団員等福祉共済の加入給付手続を行っている。

令和2年度は、遺族援護金13件、障害見舞金1件、生活援護金0件、入院見舞金49件、合計63件で総額15,112,000円を給付した。

イ 育英支援金の給付

育英支援規程による、殉職消防職団員の遺児に対する育英支援金の給付を行っている。

令和2年度は、該当なしであった。

2 役職員に関する事項（令和3年3月31日現在）

(1) 役員数

役職名	常勤	非常勤	備考
会長	0	1名	代表理事
副会長	0	4名	理事
理事	1名	17名	専務理事1名、常務理事1名
監事	0	4名	団長職2名、会計管理者2名
評議員	0	16名	団長職
計	1名	42名	

(注) 同一親族等特別な関係にある者の理事等の役員に占める割合0%

(2) 事務局職員数

・ 常務理事兼事務局長	(常 勤)	1 名
・ 次 長	(常 勤)	1 名
・ 主 査	(常 勤)	1 名
・ 書 記	(非常勤)	1 名

(3) 組 織

ア 役 員

会 長(1) 本間雄一郎(団長)

副会長(4) 大籾 徹(団長) 森田耕一(団長) 岡村好一(団長) 浅井武志 (団長)

理 事(18) 新井 義一 (専務理事) 小竹 清司 (常務理事)

森尾 博之 (県危機管理防災部長)

団 長(10)

市 長 会(2)

町 村 会(2)

消 防 長 会(1)

監 事 (4) 団 長(2)

市会計管理者(2)

評議員(16) 団 長 (16)

イ 事務局

常務理事兼事務局長(1) 小竹 清司

次 長 (1) 野本 照夫

主 査 (1) 鷹野 淳子

書 記 (1) 舞原 美智子

3 その他

附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。